



▲相談者の声にじっと耳を傾ける坂巻さん

# 外から来た私だからこそ 力になれることがある

「困っている人に寄り添い助けてい」

熱い思いを胸に秘めたフレッシユな弁護士が小林市に赴任した。坂巻道生さん32歳。西町にある「小林ひまわり基金法律事務所」を

経営し、相談者に真摯に向き合う若手弁護士だ。坂巻さんは千葉県千葉市出身。平成20年に司法試験に合格し弁護士となった。1年間の研修期間中に、弁護士過疎地に赴く若手を養成する「あさかぜ基金法律事務所（福岡市）」の存在を知り応募。その後2年間、複数の先輩弁護士から指導を受け経験を積んだ。ま

た、東日本大震災で福岡に避難してきた被災者支援を行うために、無料の相談会に参加し、悩める被災者のために多数の相談に応じてきた。

そんな坂巻さんが小林市に赴任するきっかけが、ひまわり基金法律事務所からの募集だった。日本弁護士連合会が弁護士過疎地対策として設置する小林市の同事務所には安里学<sup>あざとまなぶ</sup>弁護士がいたが、今年3月末で任期が終了。都会で生まれ育った坂巻さんは、自然豊かな本市に惹かれ、赴任を希望した。

小林市に来たのは2月



▼事務所内は明るく落ち着いた雰囲気になっている

末。晴れた日に見えた象徴的な霧島連山の絶景と、知らない自分にも気持ちよくあいさつしてくれる地域の人々が印象に残った。所長である坂巻さんは、弁護士本来の仕事をする

傍ら、慣れない事務所の運営も行う。大きな責任に不安はあるが、やりがいも感じている。

相談に来る人は必ず困ってこの事務所を訪ねる。坂巻さんは、まずは話をよく聞くように心がけているという。相手の立場に立って胸襟を開き、解決策を一緒に模索する。共同で良い方向に向かえればと常に考えている。西諸特有の方言に戸惑うこともあるが、地元から雇用する事務員の協力を得て相談者の声にじっと耳を傾ける。

また、坂巻さんは西諸地域の自殺率の高さに胸を痛

小林ひまわり基金法律事務所  
弁護士 坂巻 道生 さん

Sakamaki Michio (細野)

昭和54年生まれ。32歳。千葉県千葉市出身。今年3月から小林市の「ひまわり基金法律事務所」の所長として赴任。千葉ロッテマリーンズのファンであり趣味は野球観戦。

めており、何か力になれると考えている。「個人のトラブルは、身近な人には言えないことがある。逆に私のように外から来た人だからこそ、相談しやすいこともあるはず。病気以外の悩みならきつと力になれる。まずは気軽に相談してほしい」と呼びかける。「知識と経験をもっと積んで、皆さんに信頼される弁護士になりたい。そのためにも人間としての魅力も磨けたら」と坂巻さん。地域に根ざした「駆け込み寺」を目指し、相談者の力になろうと今日も奮闘している。

Infomation

小林ひまわり基金法律事務所

宮崎県 小林総合庁舎  
宮崎県 小林総庁舎  
小林市役所 本庁舎  
地域包括 支援センター

【所在】〒886-0004  
小林市細野 474-1 (2階)  
【電話】0984-22-0055 (要予約)  
【受付】月曜～金曜(土・日・祝日は休み)  
9時～17時30分